

令和2年6月

保護者のみなさまへ

大阪市立市岡東中学校
校長 吉本博志

フェイスシールドの着用について

平素は本校教育にご理解いただき誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染症対応にご協力いただき、ようやく授業を再開することができました。ありがとうございます。

さて、表題につきましてですが、大阪市教育委員会より、生徒全員に対して6月中旬ごろをめどに、また、教職員については6月初旬よりフェイスシールドが配布され、順次着用を進めているところです。

このフェイスシールドについてですが、フェイスシールドは相手の飛沫が直接眼などに入らないなどの効果があるとされており、近距離で向かい合って会話をする時などに有効とされています。一方、着用時に蒸れることからくる熱中症の懸念や、教職員の発問などがこもったりすることで聞き取りづらいなどいくつかのご意見をいただいているところです。

「学校園における新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」には、学校においては、生徒および教職員はマスクを着用することとしており、フェイスシールドの着用に関しては状況に応じて適宜判断することと記載されています。

これから気温が上昇してくる季節のことや、生徒と教職員とのコミュニケーションの取り方を考え、フェイスシールドの着用についてはその場面により着用を判断することと致します。

なお、生徒は、休憩時間や給食時間など相手との距離を保つことが難しい時には着用をすすめることとなっておりますが、着用時は、視野が狭くなることから危険が想定されることもあり、登下校を含めた屋外での使用や、廊下や階段などの着用、着用しながらの移動は原則禁止といたします。

また、フェイスシールドは学校での保管といたしますので、保護者のみなさまはお知りおきください。